

磁気光学位相干涉模様を見よう

磁気光学効果という磁気と光の相互作用が生み出す物理現象を使うと、磁気を使って光の方向や強さなどを操ることができます。この現象を利用したデバイスは、磁気光学デバイスと呼ばれ、ディスプレイ、光回路部品、レーザー素子、センシングなどに応用されています。

本研修では、特殊な磁性材料を通過する光が位相干涉現象によって回折することで作り出す模様の観察および考察を予定しています。ファラデー効果などの基本的な磁気光学効果や、磁気光学効果の大きな材料などについて、実験と座学により学ぶことができます。



1. 担当教員：
○後藤太一 准教授 (TEL 022-217-5489、taichi.goto.a6@tohoku.ac.jp)
石山和志 教授 (TEL 022-217-5487、kazushi.ishiyama.d8@tohoku.ac.jp)
2. 受入人数：
4人
3. 実施時期：
第2セメスター 火曜・5講時、ただし2回目以降の曜日・講時は相談による
4. 初回開始日時・場所：
10月4日(火) 16:30 電気通信研究所1号館 N102号室 (生体電磁情報研究室)